

ロッキーマン博物館のリー・ホール学芸員(右)に英語で質問する  
御船中の2年生=御船町



## 恐竜の発見 分かった!?

### 米研究者、英語で授業 御船中

米モンタナ州の恐竜研究者による特別授業が26日、御船中であった。2年生156人が、世界的な化石産出地での発掘調査の様子を全て英語で聞いた。

同州立大付属ロッキーマン博物館のリー・ホール学芸員(38)で、御船町恐竜博物館との共同研究のため同町を訪れている。英語学習に役立てようと、学校と町博物館が企画した。

リー学芸員は、約2カ月に及んだ発掘調査での成果や苦労などをスライドを使って紹介。「重たい化石を運ぶのは大変だったが、チ

ームワークで乗り切れた」などと解説した。

通訳はなく、生徒たちは自らのリスニング力を試すように真剣に聞き入っていた。代表して増田博己さんが「恐竜のことを学べる良い機会だった」と英語でお礼を述べた。

29日には午後1時半から、ロッキーマン博物館のジョン・スカネラ博士によるモンタナ州での恐竜の発見」と題した講演も町カルチャーセンターである。通訳ありで無料。町博物館のホームページから申し込む。当日参加も可。(河北英之)